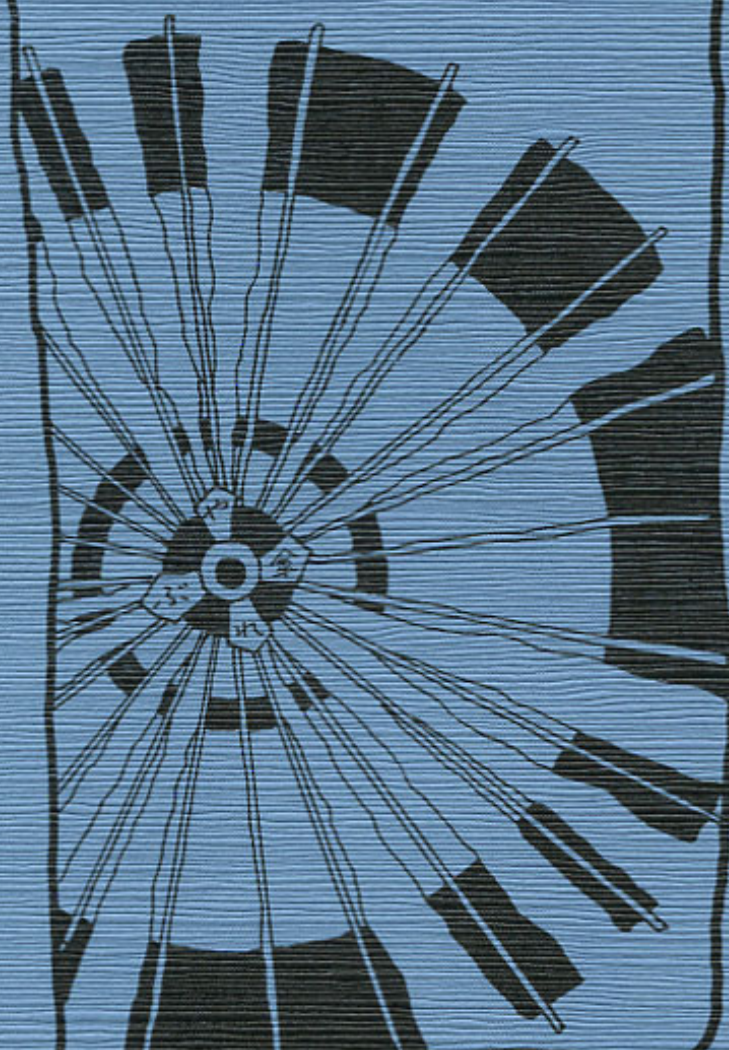


やぶれ傘



五十五号

二〇二〇年八月

梅雨の夜の管を通りし尿かな	根橋宏次
ゆきゆきて柳絮の繁きところまで	大島英昭
水かける風呂場の鏡枝蛙	きくちきみえ
梶棒を上げて駆けだす夏柳	丑久保勲
屋久島の杉の洞より袋角	廣瀬雅男
飴玉をふふみ小江戸の薄暑かな	秋葉貞子
虫喰ひの苳ありけり藁薙	天野美登里
潮の香や鰺の叩きに鰺の骨	安藤久美子
芥子菜や川原へ降りる土手の道	瀬島洒望
電線の暮れ残りたる蚊喰鳥	藤井美晴
店先のタイヤの臭ひ夏の月	渡邊孝彦
暮れそむる土手の上なる夏の月	白石正躬
とぐる巻く神の使ひといふ白蛇	久世孝雄
飛ぶものの影を映して湖は夏	國保八江
梅雨明けの空ひろびろとひろびろと	松村光典

抄 集 句 選 夫 紀 崎 大 傘 ぶ れ や

猿ぼぼを吊るす朝市花曇	有賀昌子
花薊牧の柵より牛の舌	松本正生
春耕や八十路の婆の友となり	秋山信行
草蔭に水輪拵げて残る鴨	浅嶋 肇
水ひかる田や産土の百千鳥	石原健二
夏来るチアリーダーの指の先	岩藤礼子
接種する獣医の背中花櫛	岡田香緒里
菖蒲田の敷きわら乾ぶ日差しかな	奥田温子
夏つばめ植替へ終る花時計	忽那みさ子
白南風や漁師の顔に塩噴いて	小池一司
薬師さまの水をいただく梅雨晴間	齋藤朋子
校庭に生徒の数の早苗鉢	鈴木昌子
葉桜や失敗も手の大道芸	時田義勝
朝涼の卓のサラダはタラトール	中村則夫
声高に繁りに帰る鴉かな	橋本美代

逃 水

大崎 紀夫

夜ひかる田水に土佐の蛙鳴く
畝の間に首出してよりほろろ打つ
先生が窓へ蛙の目借時
曳き舟の水脈ながくゆく傘雨の忌
街灯のこれよりまばら椎にほふ

静かなる小昼の神田祭りかな

積まれたる浮標ぶいの下より蜥蜴かな

蓐ぬなわ舟ひとつは木洩れ日の底に

畦川を田草流るる閑古鳥

かはほりにアパートの空路地の空

逃水の向うに離陸する機体

風すこし出て梅雨の夜の空たひら

梅雨の夜

根橋宏次

かるの子の吹かれては列立て直す
 葎切や杭立つのみの舟着き場
 水馬の来てゐる水を跨ぎけり
 玫瑰やたちまち海霧に消ゆる海
 木立より低き火の見や麦の秋
 夕映えのうする水面蚊喰鳥
 梅雨入院二句の夜の管を通りし尿かな
 点滴の袋に梅雨の日差しかな
 デパートの水に売らるる浮いてこい
 戸隠の蕎麦をいちまい白雨中

柳 絮

大島英昭

木洩れ日か水かげろふか山つつじ
ゆきゆきて柳絮の繁きところまで
竹林の日の斑動かぬ薄暑かな
サイレンの若葉の昼をはるかより
雲湧いて午後の青葉となりにけり
田植機に苗積まれたるままの昼
落ち梅のおのづと溜まる草のうへ
あめんぼの数だけ水輪薄日差す
日あたりに土のかをりや遠郭公
切岸に日差し一すち羊齒青葉

枝　　蛙

きくちきみえ

しづけさは竹皮を脱ぐ寺の庭
水かける風呂場の鏡枝蛙
はつなつの鴉は水を浴び散らし
サッカーボール砂場に止まる日雷
泣く児ゐてつられて泣く児梅雨に入る
椎の香を押し分けてくる乳母車
おおかたは水に沈みし桶の梅
夕立の水輪生まるる速さかな
ビール注ぐ泡の高さを測りつつ
紫陽花や走れば揺れるランドセル

夏柳

丑久保勲

畑中でラッパ吹きゐる目借り時
夏燕岩の屏風の割れ目から
注連縄の紙垂ちぎれゐる楠若葉
梶棒を上げて駆けだす夏柳
本棚の絵の具のチューブ更衣
ガラス戸に戻つてゐたる守宮かな
丸善のカバーの本とさくらんぼ
確かなるニコンの音や額あぢさゐ
くすり撒くコンプレッサ―日の盛り
南風肌に雨粒らしきものの

袋 角

廣瀬雅男

やどかりの転げて逃げる潮溜り
石楠花や鎖を辿る岩場道
屋久島の杉の洞より袋角
諸畑に島の青田の尽きにけり
親の嘴呑み込むやうに燕の子
莢剥けば蚕豆あをく匂ひけり
竹林に風の来て居る夏座敷
真夏日の墓のまぶしき谷中かな
片陰の途切れて銀座四丁目
暮れなづむ藪に花置く烏瓜

飴 玉

秋葉貞子

明 易 や 夢 の 余 韻 を 残 し つ つ
飴 玉 を ふ ふ み 小 江 戸 の 薄 暑 か な
白 牡 丹 独 り の 宵 の 花 言 葉
方 言 の 親 し き 春 の ク ラ ス 会
郭 公 に 耳 傾 け る 一 人 の 餉
方 丈 を 出 て よ り 朱 夏 の 石 だ た み
水 無 月 の 磨 崖 仏 な り 風 招 く
薫 風 に 裳 裾 返 し て 飛 鳥 仏
枇 杷 の 種 ば か り 置 か れ し 白 き 皿
薫 風 に い ま 焼 き た て の メ ロ ン パ ン

藁 薙

天野美登里

図 書 館 に 日 差 し 入 り く る 目 借 時
夕 暮 れ の 雨 と な り け り れ ん げ 草
午 後 の 日 の 高 く あ り け り 菖 蒲 風 呂
虫 喰 ひ の 苺 あ り け り 藁 薙
風 少 し 麻 の ハ ン カ チ ひ ろ ぐ れ ば
夏 菜 莢 の 枝 を い ち 輪 挿 し に か な
端 居 し て こ ん こ ん 叩 く 茹 で 卵
桜 桃 を 摘 む 脚 立 を た て に け り
屋 敷 へ と 続 く 畑 や 栗 の 花
駅 長 の 金 の 肩 章 更 衣

◇ 9～10月の句会案内

月	日	時	句会名	会場	連絡先
9月	3日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	3日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保 勲
	7日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	7日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬島 孟
	8日(水)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	18日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	22日(水)	PM6:00	三斗会	WEP俳句教室	丑久保勲・WEP
	25日(土)	AM10:00	楽天会	戸田市中央公民館	廣瀬雅男
	26日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室
10月	1日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	1日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保 勲
	4日(月)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	5日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	5日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬島 孟
	16日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	17日(日)	AM10:00	吟行会(下記注)	新座市・平林寺	丑久保 勲
	23日(土)	AM10:00	楽天会	戸田市中央公民館	廣瀬雅男
	24日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室
	27日(水)	PM6:00	三斗会	WEP俳句教室	丑久保勲・WEP

(注) 10月17日(日)の吟行。集合は10時。JR武蔵野線新座駅改札口。

吟行地：平林寺。新座駅からバスまたはタクシー。句会場：さいたま市民会館
706集会室。浦和駅西口から徒歩5分。バインス・ホテルの裏。

◎ 連絡先 瀬島 孟 ☎ 048-862-2757 藤井美晴 ☎ 0422-55-2733
 大島英昭 ☎ 048-592-5041 WEP編集室 ☎ 03-5368-1870
 廣瀬雅男 ☎ 048-443-7522 浦和コミセン ☎ 048-887-6565
 丑久保 勲 ☎ 048-853-3856 WEP俳句教室 WEP編集室へ